



# 国内債券市場

## ～長期金利(10年国債利回り)は低下～

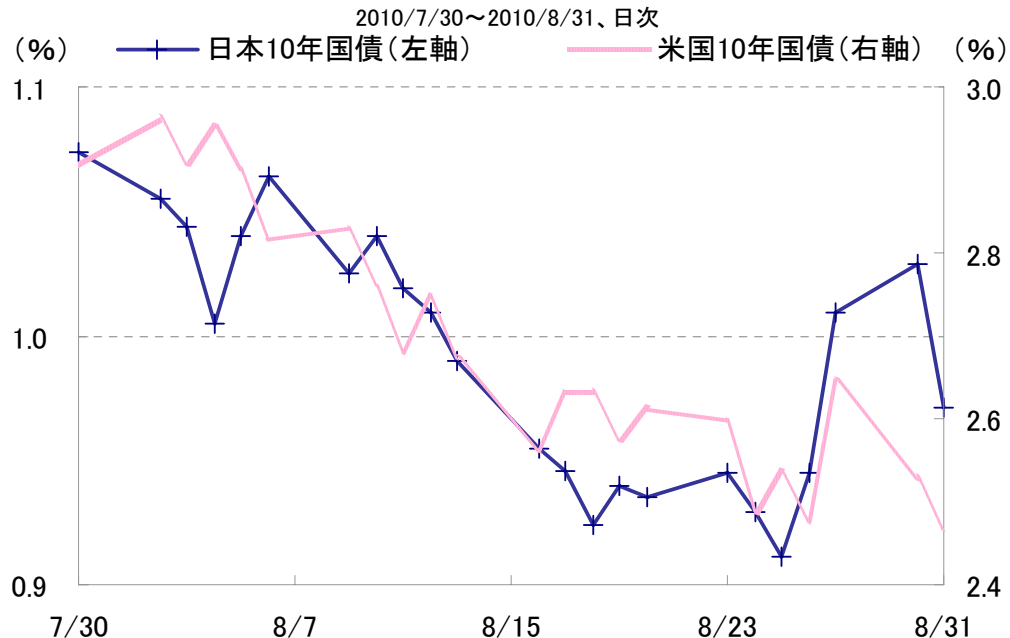
### ■8月の投資環境

- ・ 堅調な米国債券市場や10年国債入札の好調な結果を受け、10年国債利回りは月上旬に1%程度に低下しました。その後、高値警戒感などから長期金利が上昇する局面もありましたが、景気減速を示唆する経済指標の発表を受けて日米ともに追加的な金融緩和政策に対する期待が高まり、円高、株安、米国長期金利低下傾向が鮮明になったことなどから、10年国債利回りは月下旬にかけて低下基調となりました。
- ・ 10年国債利回りは、25日に一時0.9%程度まで低下しましたが、民主党の小沢前幹事長が代表選出馬の意向を示したことをきっかけに財政拡張への懸念が高まったことや、菅首相が円高株安対策の緊急記者会見の報道がマイナス材料となり、10年国債利回りは1%を上回る水準に上昇しました。30日に米長期金利の上昇が嫌気され10年国債利回りは一時1.1%を上回る水準まで上昇しましたが、投資家の押し目買いが入ったことをきっかけに低下に転じ、円高、株安も買い材料となったため、月末の10年国債利回りは0.9%台後半の水準で終了しました。

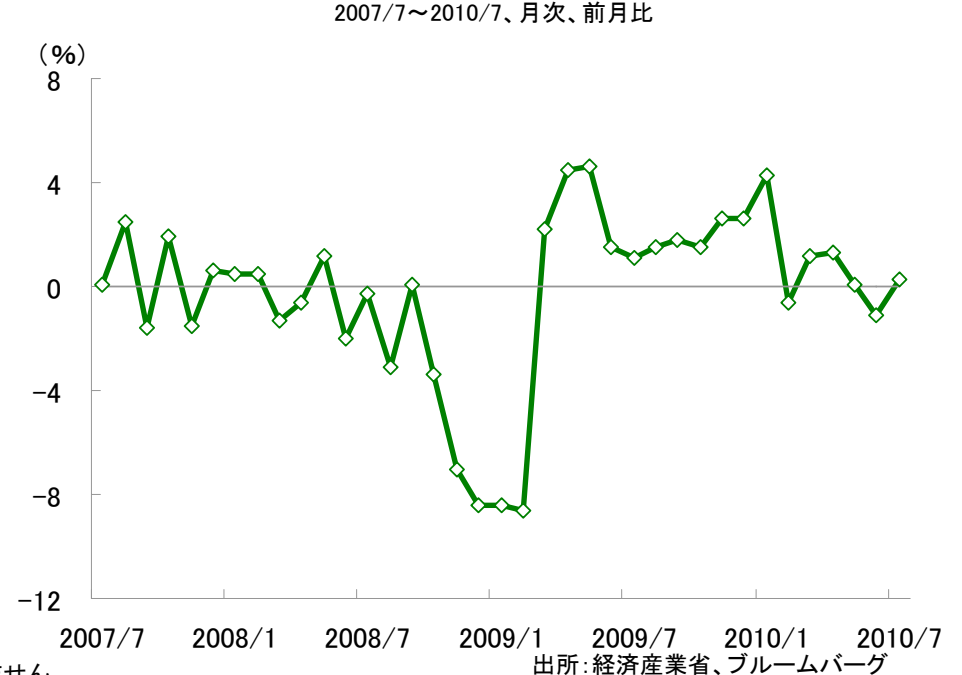
### ■当面の見通し

- ・ 民主党の代表選挙に小沢前幹事長が出馬したことをきっかけに、国債需給悪化懸念が再び高まっていることや、株安から9月中間決算を前に金融機関からの利益確定の債券売却圧力が高まりやすいことなどが、金利上昇要因になると思われます。一方、経済の基礎的條件の悪化を背景に、日米とも金融緩和政策が長期化する可能性が高まっていることや、投資家の押し目買い姿勢に変化は見られないことなどが、金利低下要因になると思われます。これら2つの要因が拮抗する中、債券市場は不安定化しつつも、基本的にはレンジ内で推移すると思われます。

### 日米10年国債利回りの推移



### 鉱工業生産指数の推移



※上記グラフは過去の実績および将来の予測であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

■当資料は情報提供を目的として東京海上アセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。■当資料で使用している表・グラフは過去のものであり、将来の実績・運用成果などを保証するものではありません。■当資料には一定の見解などが含まれていますが、その内容はあくまで作成時点のものであり、将来変更される可能性があります。また、市場動向や個別銘柄の将来の動向を保証するものではありません。



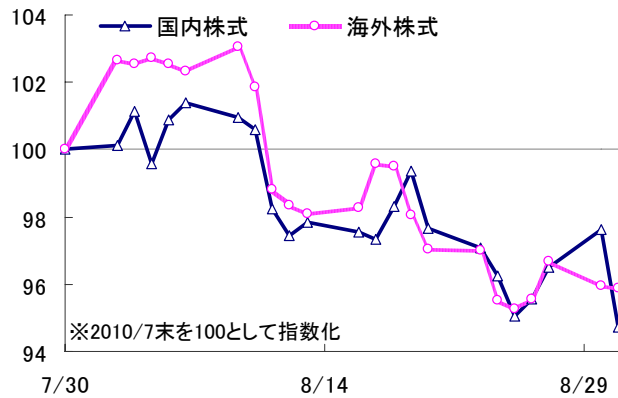
# マーケット動向

2010年8月の主要指数の動き						
	国内株式	国内債券	海外株式	海外債券	為替	
参考指数	TOPIX	NOMURA-BPI (総合)	MSCIコクサイ指数 (米ドルベース)	シティグループ世界国債インデックス (除く日本/米ドルベース)	(円/米ドル)	(円/ユーロ)
2010年7月末	849.50	331.02	1,111.87	856.98	86.70円	113.20円
2010年8月末	804.67	333.17	1,066.23	866.31	84.56円	106.91円
騰落(変化)率	-5.3%	0.6%	-4.1%	1.1%	-2.5%	-5.6%

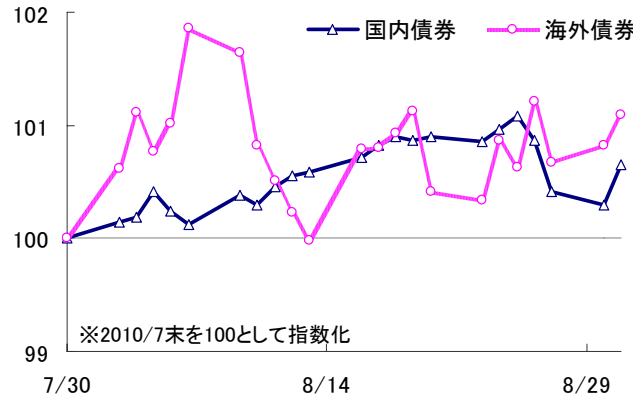
## 直近1カ月の主要指数の推移

2010/7/30~2010/8/31

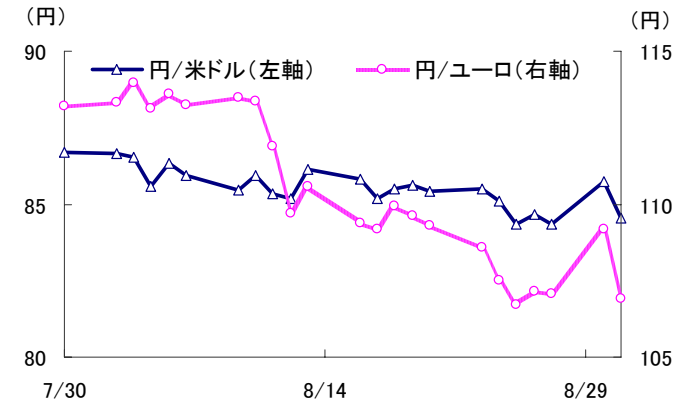
株式市場



債券市場



為替市場



## 過去3年間の主要指数の推移

2007/8/31~2010/8/31

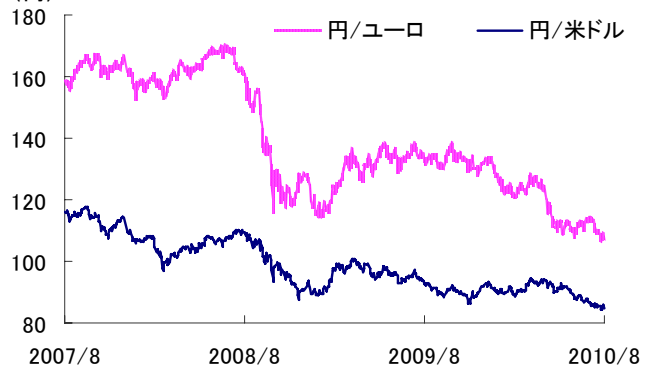
株式市場



債券市場



為替市場



※上記グラフ・表は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

出所:ブルームバーグ、Thomson Datastream

■当資料は情報提供を目的として東京海上アセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。■当資料で使用している表・グラフは過去のものであり、将来の実績・運用成果などを保証するものではありません。■当資料には一定の見解などが含まれていますが、その内容はあくまで作成時点のものであり、将来変更される可能性があります。また、市場動向や個別銘柄の将来の動向を保証するものではありません。



## 【指数について】

### TOPIX

TOPIXは東京証券取引所が発表している東証市場第一部全銘柄の動きを捉える株価指数です。TOPIXの指数値および商標は、東京証券取引所の知的財産であり、TOPIXに関するすべての権利およびノウハウは東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、公表の停止、TOPIXの商標の変更、使用の停止を行う場合があります。

### NOMURA-BPI(総合)

NOMURA-BPI(総合)は、野村證券が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、野村證券の知的財産です。

### MSCIコクサイ指数(米ドルベース)

MSCIコクサイ指数(米ドルベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。

また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIの許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。

### シティグループ世界国債インデックス(除く日本/米ドルベース)

「シティグループ世界国債インデックス(除く日本/米ドルベース)」とは、シティグループ・世界・マーケット・インクが開発した、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化したもので、シティグループ・世界・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、シティグループ・世界・マーケット・インクが有しています。